京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月前金五十五錢●三ヶ月前金壹圓六十錢▲六ヶ月前金貳圓拾參錢 ▲郵税一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰暦 二月廿七日
發行編輯兼印刷人 山下 京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

韓國に働きたる人物 其三
（加藤增雄） 放浪子

▲官吏の力量以上に昇進したる者程厄介なる者はあらず、其官吏自身も甚だ困る也、加藤增雄の如き則ちそれである。

▲若し加藤增雄にして、全權公使とならずに總領事位に留りしならば、宮内府顧問を止められても、ヲデッサ邊に總領事となり、南米邊の辨理公使位にはなれたかも知れぬ

▲何しろ彼の馬山浦事件で、露國公使と折衝し、韓廷との秘密條約をしたので、時の外相大隈伯によりて全權公使とまで昇進したのである。

▲此秘密條約も加藤に辛棘なる外交手腕があつた爲ではない、彼の柔和なる容貌と、彼の謙遜的態度と、彼の猫撫聲とは、始て謁見の際より、李熙陛下の御氣に入り、夫が爲に出來たのである、寧ろ陛下は始めより彼を與みし易しとし、公使時代に於て家來視したのである、則ち家來とする結納であつたのである。

▲亦た一方から言へば、陛下と加藤とが意氣投合し、一見直に君臣たるの縁が結ばれたのである、彼の君にして此臣ありで眞個に好く組み合せである、其要領を得ざる點、遁言以て人を操り、約束を容易に履行せざる、總て能く似て居る。

▲加藤も亦た陛下には非常に心服したものである、陛下の方では利用したるに過ぎないが、加藤の方では心底から推服して盡した傾がある、同氣相求むると云ふが、全くそれであつた。

▲昨夏の政變讓位の當時、加藤は太皇帝に對し、御氣の毒で目も當てられぬと云ふて涙を流して家人に語られたと云ふてとだ、平生の行爲より考へて、之は事實であらうと思ふ。

▲併し加藤も亦た外交家の一人である、柔能く剛を制する的の外交である、總て下手に組で敵の胸に頭をあてゝ喰下り、隙を覗いて萬一の奇功を奏せんとする玉椿的外交である、其陰險なる外交振りは露語に通ずる爲め露人と交際する間に化せられたのであらう。

▲加藤の韓國觀は陛下に心服した爲であらうが、伊藤公以上の韓國本位である、韓國本位と云ふよりも、寧ろ韓化せられて準韓人となつたのである、故に韓國、日本といふ考よりも自己本位の考が強いのである。

▲彼が宮内府顧問在職中の行爲は、之を證據立てゝ居るではあるまいか、彼は此間に巨額の資産を造つたとの評判である、陛下の難有かつたのはそれが爲であるまいか。

▲彼は素と伊勢の眞宗僧侶である、何處かに印度哲學の感化を受けた面影がある、彼は外國語學校に露語を學で、露人と交つた爲に露國的感化も受けて居る、故に其隱忍謙遜の裏面には、凄い考を蓄へて居つた。

延安地方貿易概況（仁川税關調）

延安は海州を去る東方十二里南大江を隔てゝ橋桐島と相對峙す飛鳳山南面の山麓に位し黄海道第二の都邑たり戸數八百有餘人口四千日本人の居住するもの五戸清國人の居住するもの五戸あり郡衙の所在地にして財務署巡査駐在所郵便電信取扱所あり守備隊あり此地は豐公征韓の役黒田長政海州城を陷入れ勢に乘じて延安に進入せんとせしも要害嚴にして遂に大敗を蒙りし舊跡なり

延安郡は二十四面にして鷄峴、食峴、薪城、蓋峴、金浦、大山、並城、楡倉、米山、逢村、松靑、亭村、西村、今岩、龍岩、永遠、洪長、東部、南部、北部、弓位、方洞、龍川等なり郡内一帶に地質沃肥し田野大に拓け米穀及大豆を産すると夥し又た製鹽場七濱を有す

一、延安の開市日及市場の情況

開市日は毎月六回陰暦二、七日にして其取引は重に穀類、葉烟草、綿布、綿糸其他各種の雜貨にして支那人の雜貨商にて市場廻りを營業とするもの二十餘名あり韓人の來市するもの夥しく郡内は勿論白川郡より來市するものありて平素狹隘の市街は一段交通の餘地なき盛況なり最も之等の繁盛を見るは多く出穀期にあり

一、商取引の情況

延安郡二十四面の外白川郡西南一部の物質は延安の一部なる羅津浦を利用して仁川と取引せらるゝ穀類大取引は出穀期に際し仁川日本商人直接延安に出張し同地仲買商の手を經て郡内各地の部落より蒐集するも普通一般に市場に於て取引せらる各地部落の穀類其他の雜貨は開市日に於て各々人肩牛馬背に依り市場に搬出し穀類を賣て綿布を購ふ等市場は間接に物々交換の情況なり日用品は市街各舖の店頭に陳列あるも平日は夫等の賣行微々たるものなり日用品すら開市日を待て購求するの有樣なり金融機關なく仁川との取引は多く郵便爲替により僅に利便を得つゝあるに過ぎず

一、重要物産

郡内重要の物産は米、大豆、小麥、小豆、牛皮の類にして米は第一位を占め大豆、小麥、小豆之れに次ぐ今夫等の輸出年額即ち仁川へ移出する概數及概價を擧れば左の如し

品名	數量	價格
米	五〇、〇〇〇石	四〇〇、〇〇〇圓
大豆	五、〇〇〇	二七、五〇〇
小麥	五、〇〇〇	二〇、〇〇〇
小豆	三、〇〇〇	一九、五〇〇
牛皮	二、〇〇〇	六、〇〇〇
牛骨	一〇、〇〇〇	六八〇〇

一、重要の輸入貨物

輸入即ち仁川より移入する外國貨物の主なるものは金巾、紡績糸、紙卷烟草、マッチ、石油、砂糖、叺、繩、陶器等にして金巾は三エー印尤も販路廣く紡績糸は攝製糸の獨專に歸す、マッチも大阪製黄燐にして紙卷烟草は上海村井製ハーロー歡迎せられ官烟及其他の口付兩切共殆んど需用を見ず砂糖は精糖會社製品にして石油は松印及鐵印賣行良好なり其最も賣行良き時節は九月より四月迄にして五月より八月迄は殆ど需用なし韓人の慣習として夏期屋内に點火せざるが故なり是れ蚊軍の來集を避くるが爲なり又陶器は肥前燒好況なり今此等移入年額即ち概數概價を左に

品名	數量	價格
金巾	三〇〇個	三三、七五〇圓
紡績糸	二四〇	二、〇〇〇
紙卷烟草	三〇〇	六、六〇〇
マッチ	一、〇〇〇	七、八二〇
石油	一、〇〇〇	二、五〇〇
砂糖	一五〇	一、三五〇
叺	五〇〇	二、一〇〇
繩	二五〇梱	四〇〇
陶器	二〇〇	六〇〇

一、市場の相場

内外國産物市場小賣相場を擧ぐれば左の如し

内國産

品名	數量	賣價
木綿	一反（三十五尺）	一、二〇〇圓
生麻布	一反（三十五尺）	三、〇〇〇
洒麻布	一反（三十五尺）	九、〇〇〇
明太魚	一束（廿疋）	三二五
鹽ニシン	一連（十匹）	二〇〇
葉烟草	一連（一斤）	一五〇
鹽	五升（韓一斗）	一七〇

韓國濟經月報（三）（隆熙元年十月分）

概説

二、仁川税關調

一、大連向け韓米の輸出開始は明治卅九年三月二十九日にして左表の如し

大連向け韓米輸出高累月表

月別	輸出高	月別	輸出高
昨年三月	三二〇石	本年一月	五五六石
累計	三二〇	累計	四、六二一
四月		二月	一、一三〇
累計	三二〇	累計	五、七五一
五月		三月	二、六九〇
累計	三二〇	累計	八、四四一
六月	一〇〇	四月	三、二二〇
累計	四二〇	累計	一一、六六一
七月	一一〇	五月	三、三四三
累計	五三〇	累計	一五、〇〇四
八月	二二〇	六月	三、九九八
累計	七五〇	累計	一九、〇〇二
九月	二七〇	七月	四、九九四
累計	一、〇二〇	累計	二三、九九六
十月	四三五	八月	五、〇六〇
累計	一、四五五	累計	二九、〇五六
十一月	一、〇四〇	九月	七、三〇二
累計	二、四九五	累計	三六、三五八
十二月	一、五七〇	十月	三、一四八
累計	四、〇六五	累計	三九、五〇六

貿易の盛運此の如きに際し一般金融界の情況如何は最とも注目を要す先づ其機關の設備より見る時は前年の當月に於て概して樞要地點にのみ設置せられたる農工銀行が今や十三道各地に普及し各商業地に於て其支店若くは出張所の設置なきはなく金融機關の設備として稍々完全の期に進みたるを認むべし

左に昨今兩年當月の設備を比較せん

昨年當月末現在農工銀行所在地左の如し

漢城、大邱、平壤、全州、光州、晉州、海州、鏡城、忠州

計 九箇所

本年當月末現在農工銀行所在地左の如し

漢城、大邱、平壤、全州、光州、晉州、海州、鏡城、忠州、公州、開城、砂利院、博川、寧邊、春川、元山、咸興、會寧、鎭南浦、南原、筏橋、浦、榮山浦

計 二十二箇所

即ち滿一箇年間に十三割の擴張をなせしに相當せり此外に於て各商業銀行、倉庫會社、手形組合の如きも該一年間に多大なる發達及擴張を行ひ十三道の各首府の如きは實に金融機關完備の狀態にありと謂ふを得べし

特に農工銀行營業上の缺陷を補ふ爲に設備せられたる地方金融組合も亦益々其準備を進め樞要の地方三十箇所に於て直に新設を見んとしたるも七月以降京郷の擾亂尚未だ息まずして暴徒の横行甚だしく所在行政各般の機關多くは其損害を被むり爲に實際設置を了り業務を開始したるもの少なく徒らに手を拱して暴徒の鎭定を待つの狀態に在るは甚だ遺憾とする處なり今や秋收の時に際し農商業の活動之より始まらんとするに臨み地方騷擾の爲に政府當初の計畫を實施せしむること能はず終に最好時機を逸し去らしめんとするは政府及農商民の倶に痛恨する所たり

暴徒の横行せる區域が多く米産地として著名なる地方に屬するは特に遺憾なり黄海道の砂利院を中心とせる一帶地域は鎭南浦を出口としたる米産地なるが近時附近所々に暴徒蜂起の聲あり屡々恐慌の狀なき能はず全羅南道の各地方今猶靜穩ならざるは米穀の買出を阻害すること最とも多大にして此情勢を持續して明春に入らば當國の輸出貿易を障碍し一般の商勢に波及することなきやを恐る從つて當月及以後は各金融機關の活動が果して昨年秋收以後の如くなるを得るか否は之を今後の實勢に徴するの外なし

舊貨の整理に就きては特に當月中に顯著なる事項を認めず舊白銅貨の回收も近來殆んど其迹を絶ち鎔解部の作業も休止の姿となり葉錢の輸出は銅相場の下落に伴ひ輸出不引合となり去る七月以降全く中止となり當國各商業地に於て米穀の買出を豫想し投機的に其騰貴を促がすものありて或は二十四五割の高價を唱ふるに至りたるも晉州の如きは現物缺乏の爲め納税上の不便を來し且つ當局者が專はら新貨納付を奬勵したる結果葉錢は頓に下落を來たし之に乘して農工銀行の施設宜しきを得たるより新貨の普及日一日より盛んに葉錢買收に應じたる商人は非常の恐慌を來したる事實あり各地此狀勢に鑑みて能く新貨建を勵行せば葉錢の整理は漸を逐ふて其成績を擧ぐるを得べく全國をして全然新貨に據らしむるに至るも亦た遠からざるべし

ステッセル裁判（三）

▲ステッセルの辯解

前回に引續き開城に關する審問を進め裁判長先づステッセルに向つて「彈藥の在りしにも拘らず貴下は何故に無しと陛下を僞りたるや」と切り込めば、ステッセルは憤激し語脈も亂れて、

被告は常に事實を上申したるのみ未だ曾て僞りしことなし。當時彈藥の盡きし事はベールイ將軍之を告げ、砲臺の將校等常に之を訴へ、中には海軍砲を解きて陸地に應用すべきことを上申したるもありき。然れども若しクロパトキン來援するか若しくはロゼストウエンスキイ艦隊の來りたる場合には、艦隊の武裝は必要なりしを以て被告は之を解くことを許さゞりき。然るに八月六日（十九日）に提督會議ありて其の際艦隊の武裝を解くを決したりとの事を被告は十一月に至り始めて知りたるのみ、而して其の彈藥が何所へ向けられしや、其の數幾許ありしや被告は之を知らず、其の事を報告せよと提督等に書送りしも返事なかりき。被告は未だ曾て我が皇帝陛下を僞りて上奏せし事なかりき。若し被告の首にして斬り離されしならんには何事も上奏せざりしやも知れず。苟も此の首の存せし限りは事實を上奏せざるを得ざりき」。

ステッセルの言語殆ど常軌を逸せしを以て裁判長は彼の心を沈めんと「着席せよ、着席せよ」と再三繰返し、更にレイス將軍に向ひ、

「開城談判に赴きし時貴下は如何なる訓令を受けしや」。

レイス「ステッセル將軍は余に命ずるに武器と共に全要塞兵の放釋を請願することを以てしたり。然れども若し日本委員が之を承諾せざる場合には、我等の體面を損せざる限りに於て更に他の條件を提出することを命じたり」。

裁判長「貴下は旅順開城條件を恥づべきものと思はざりしや」。

レ將「然り、其の當時も今日も之を恥づべきものとは思はず、勿論我等の要求せし所に比ぶれば不利なるに相違なしと雖も決して恥づべきものにはあらず」。

檢事「然らば貴下は是等の條件を尊敬すべきものなりと思ひしや」。

レ將「如何なる條件が恥づべきものなるやを告げよ」。

▲ウエルシーニン大佐の證言

前旅順市會議長ウエルシーニン大佐は檢事の請求に據りて、開城後ステッセル將軍が市民に對し冷酷を極めたる事實を證示して曰く、

「開城後三日を經て十二月二十四日（一月六日）群の婦人（兵士の妻）は其の子供と共に本證人の許に來れり。彼等は住むに家なく、食ふに食なく一切の保護を絶たれたり。蓋し開城條約は此等の人民の保護に就て何等規定する所なければなり。彼等の夫は皆十四露里を隔つる大連に逐ひ拂はれ、彼等の夫人は夫の跡を追うて同地に至らんことは所詮不可能なりき。將校の妻子等も亦同じ悲境の中にありたり。本證人は東奔西走漸く彼等の荷物を運ぶべき拾八臺の馬車を周旋するを得き。然るに夕刻に至り日本軍は其の内の十臺を取返したり。蓋し是等の馬車はステッセルの荷物を運搬する爲に供せられたるものなればなり。ステッセル一人の用に供せられたる馬車は凡て三十二臺ありき」。

尚ウエルシーニン大佐はステッセル夫人の性質に言及して左の如く述べたり。

「開城の二日程前にステッセル夫人は己れの家に殘れる牝牛を一頭八百九十留宛にて買はんとを牛肉商に勸めしが、如何に包圍中の旅順なればとて餘りに高價なりしを以て其の約束は成立せざりき」。

小説 紅のみだれ（百五）
永井櫻園

「イヤ、その事情と云ふのは、山田も清之助さんを贔負にしたゝめに、跡形も無い事を新聞に出されて、學資を出して下れて居た親戚からは見放される、それがため今年卒業と云ふ學校の方は退學して了ふと云ふ事情で謂はゞ一生取返しの就かない境遇に落て了つたのです、然う云ふ氣の毒な事情があるもんですから、清之助さんの方でも打棄つて置く事が能ない義理にもなる、もの〳〵思ひ合つた間だから、それではと云ふので、大川へ嫁く事に極つて居る、大事な軀を任せて了つた樣子です。ですから、見きへ濟むで了つたら奇麗さつぱりと別れて了へと言つた所で、到底別れる事情のものぢやありません、喧ましく云へば、異端情死でも爲かねない勢です。然う云ふ兩個の意氣込ですからあまり嚴しい事を云つて、取返しの就かないやうな事を爲せてもなりませんから、玆は一番私に任せて下れませんか、任して下さりやあ及ばずながら、設令大川の縁談が破れても貴方が不自由されるやうな事は爲せませぬ、必ず相當な方法は私から附けて出しますが如何なもんでせう。」

勇五郎は寸時思案した後。

「そりやあ、貴方が相當な道を附けるから任せよと仰やるなら、た任せ申しは致しますが、しかし道を附けるにも色々ありますが、奈何云ふ方法に爲て下さる考へでせうか、それが聞かして貰ひたいもんです」

「なるほどそれも御道理だ、では私が考へて見やうと思ふだけの事を、殘らず打明けて了ふから、その上で任せるとも任せないとも極めて下さい。しかし、能く斷つて置きますが、私は至つて氣の短い方ですから、自分の考を述べた上で貴方がそれを承知されなかつたらもう到底自分の力では及ばんものと思つて、それ限り御免蒙りますから、その意でお聞きなすつて下さい」

と、先づ斯う念を推した後。

「私の方法と言ひますのは、先づ第一に清之助さんを山田の妻に遣つて夫婦にする事を承知して貰ひたいのです、これを潔く承知して下されば、商業の資本金として山田から百五拾圓貴方へ進上させて、尚ほ月々拾圓宛の手當を送らせます、尤も清之助さんは一人娘と云ふ事でありますから、當家の家督は兩個の間に出來た貴方の孫をもつて相續人にさせます、これだけの條件で私に任せ下さりやあ、誓つて實行爲せます。が、萬一不承知でありますなら、只今云ふ通り、私は再び何にも言はないで、これきり暇して歸りますから、篤と熟考して任せるとも任せないとも極めなすつて下さい。」

云ひ了つて、又莨を喫すのである、勇五郎では大川の縁談は既に斷つて了つたし、今日にも三百圓の金子の代りに店の有ゆる物品を渡さなければならぬが、然うなつては、遺憾ながら店は閉店するより外、手段は無いと諦めて居つた折柄、百五十圓の資本を貰ッた上に、月々十圓の手當と云ふ、寧ろ意外な松岡の辭を聞いて、心に滿足しながら、頗る不滿さうな顏をして

「云ひたい事は澤山ありますが、何も因縁盡と諦めまして、我慢の虫を殺して山田に下れて遣りませう、その代り業の資本なり、月々の手當は間違無く下れるやうに、貴方から能くせうがしなすつて下さいませ。」

▲地方官更迭（廿八日發）

任東京府知事 貴族院議員 阿部浩
任千葉縣知事 內務參事官 有吉忠一
任高知縣知事 千葉縣知事 石原健三
任島根縣知事 石川縣事務官 若林來三
任宮崎縣知事 北海道事務官 高橋直一
任富山縣知事 內務書記官兼參事官 宇佐美勝雄
任鳥取縣知事 [illegible]

▲地方官の休職

鈴木高知縣知事 山田鳥取縣知事 松永島根縣知事 永井宮崎縣知事 川上富山縣知事

書者ギツボン氏、はジユピトルの大廟に詣で、羅馬衰亡史を著せり、余翦始て漢城に入り、四園の光景悉く蕭條たるを見るに及んで、何となく一種の悲感に打たれ、半島衰亡の因由を瞑想するに至らしむ。韓半島の蕭條として振はざる、其民は懶惰にして活氣なく、猜疑心强くして敦厚の風地を掃ひ、其娯樂亦單調にして酒色の外あるなし、寢亡せざらむとするも豈夫れ得可けんや。

東城新報

大和民族の使命

其由來する所多々あるべしと雖も、要するに建國以來支那大陸の壓迫を受け、常に境土を覬覦せられ、終始弱者の位置に立ち、唯是れ防衛に煩殺せられむとし、其防衛も力を以てする能はざるより、卑屈なる外交によりて漸く支へ得たり、之が爲に謠詐欺謀に長し、從つて猜疑の念發達せり、飛恩薄信は國家を維持する信條と誤想せられたる也、斯る憐れなる韓國民を救ひ、天の寵を發揮せしむるには如何にして可なるべきや。惟ふに外國の侮を受けず、其威信は優に列國を壓するに足る强國、其國民は義勇に富み、强を挫き弱を輔る俠量を有す、其君主賢明にして、政治亦善良、一朝事あれば擧國一致す、斯る美しき邦國の付屬となるか、將た其邦國の民となるか、渠等可憐の境を脫せしむる、則ち此二途の外ならむ、斯くするに於ては、謠詐欺謀して國家を維持する必要なく、天與の幸福を受け得可し、韓國民をして此幸福を受けしむるは、義俠に富める我大和民族の爲す可きことにあらずや。

既に死の定まれる患者に對して、屢々皮下注射を試むるは、惰あるに似て却て慘酷也、其患者の苦痛知るべきのみ、武士が割腹すると同時に之を介錯するは、其苦痛を短ならしむる武士の情也、如斯考へ來りて韓國の現狀を思ふ、人道の點よりするも其救濟を速にし、苦境を脫せしむるの急なるを懷ふ、婦人の如き感情的の仁は却て後患わり大和民族は由來武士道を以て建つ、武士は物の憐れを能く知れり、躊躇逡巡苦痛を長からしむるは双方の爲ならず、亦武士の爲すべき事にあらず。

東歐に於ける巴爾幹半島は、歐羅巴禍亂の根源たるが如く、韓半島は極東禍亂の因由となりしこと一再ならず、極東平和の基礎を確實ならしむる爲にも深く考へざる可らず、極東平和の保障は大和民族の責任也、可憐なる韓國民を濟度するは大和民族の使命也、嗚呼我等大和民族の任や重且大也。

紐育電報

▲ス氏遂に死す

スチーブンス氏は二十六日朝遂に逝去せ

り同氏の生命を救ふ最後の手段として外科手術を施したるに彈丸大膓部を貫通し居たる事を發見せり小池領事は臨終の際病床に附添ひ居たり

▲兇行韓人の容体

スチーブンス氏に兇行をなしたる韓人の容躰は却つて良好にして漸次快癒に向ひス氏の訃音を聞きて歡喜しつゝあり（以上二十七日發）

東京電報

▲帝國議會閉院式

今日帝國議會閉院式を擧行せられ例年の如く優渥なる勅語を賜ふ

▲政府の吊電

スチーブンス氏逝去に就き我政府は本日同氏遺族に向ひ吊電を發せり（以上二十七日發）

雜報

●太皇の射的

太皇帝には昨年讓位後政權の回復に熱望せられしも外間の監視嚴にして御得意の小策を弄せらるゝ能はず只だ欝々として承寧府の奥深く嚴妃に慰められ居られしが其欝を晴らさんとの御思召しなるや其御興意は知らざれど西大門內俗に興化門大闕の舊射亭に射的場を設けさせられ承寧府侍從を相手として射的を催さるゝ由にて目下射的練習中なり

●清津土地賣下規則

清津港官有土地賣下に關する件左の如く裁可公布されたり

第一條 本規則は咸鏡北道富寧郡清津に適用す
第二條 清津に在る官有地の賣下は清津を管轄する理事官之を掌る
第三條 官有地の賣下は競賣の方法に依る
第四條 競落人は競落了後即時其競落價額の五分の一を契約保證金として納付す
第五條 競落人契約保證金を納付する時は別記書式に依り賣買契約書二通を作成して當該官廳及び競落人此に署名捺印したる後各其一通を保有す可し
第六條 競落價額は賣買契約書作成の日より十日以內に納付すべし
第七條 競落人に於て第四條及第六條に掲ぐる義務を怠たる時は賣買を無效とす尚且つ第六條に掲ぐる義務を怠たる場合に在りては契約保證金を沒收す
第八條 土地を取得したる者にして第五條に掲げたる賣買契約書作成日より三箇年以內に該地區を利用せざる時は右契約を無效とし當該地區を競賣に付す可し
前項の時競落人が支拂ひたる金額前項に依りて賣下を爲す金額に達せざるまでは此を前項の土地取得者に返還し尚且つ剩餘有る時は此を沒收す
第九條 本規則の施行に必要なる規定は清津理事官此を定む
附則 本令は頒布の日より施行す

（書式）

賣買契約書

清津を管轄する理事廳理事官誰某は清津官有地賣下規則に依りて韓國政府を代表して咸鏡北道富寧郡清津に金幾圓の價格を以て清津幾等地第幾號幾坪の面積を有する土地を賣渡す者なり

明治何年何月何日清津理事廳に於て本書二通を作り各自署名捺印す

理事官 何 某
買受人 何 某

●秘苑の園遊會

乾元節祝賀の爲め總理大臣李完用氏の主催たる昌德宮秘苑に於ける園遊會は豫報の如く昨日午後一時より開會され手品官妓の舞蹈、日本藝妓の手踊其他行陣行列等各種の餘興あり李總理皇帝の萬歲を三唱し主客充分の歡を盡し午後五時頃隨時散會したり尚ほ詳細は次號に報導すべし

●內部法部の休廳

昨日は乾元節園遊會當日に付內部法部は臨時休廳す

●東洋火災保險借款

東洋火災保險會社の株金拂込期日は來る三十一日なるが目下の處證據金さへ未だ拂込まれざる狀況なれば株金の拂込は到底望まれず良し有りとするも幷は大抵約束手形に止まるべきを以て會社成立上必要なる資金を借入れんが爲め先日中より某東京銀行へ交涉中なりとの事なるが本借款の成立するや否やは疑問なりと云ふ

●食堂列車試運轉

鐵道管理局にては今回新案の食堂列車を運轉することゝなりたるを以て來る三十、三十一の兩日間南大門より水原まで試運轉をなす筈にて京仁各新聞記者及び各通信員を招待し觀覽を請ふ由同食堂列車は從來の列車と趣を異にし至てハイカラ的なりと吾人は同局がれ役所風を去りて商業的を旨とし一般乘客をして愉快に安全に旅行せしむるの方針を取られんことを希望する者なり

●韓國經濟協會

韓國經濟協會にては來る三十一日午後六時より日本人倶樂部に於て本月の例會を開會し關稅局書記官藤原正文氏の間島貿易談、農部畜產課長原島善之助氏の韓國畜產觀と題する講演ある筈なり

●故ス氏追吊會

桑港に於て韓國兇漢の爲めに狙擊せられ治療効を奏せず逝去されたる前韓國外交顧問スチーブンス氏の爲め追吊會を行はんと目下官民間に協議中の由なるが記者も同議に贊同を表するものにて成るべく盛大に擧行せられんことを希望するものなり

●我國に竭す卅七年（スチーブンス氏の官歷）

今回在米韓人の爲め狙擊せられ遂に逝去したるスチーブンス氏は日本に對してはデニソン氏と並び稱せられたる功勞者にして又實に唯一の日本贔負なり氏は華盛頓に生れ明治十五年十一月一日初めて我が在米公使館書記官として雇用せられ十七年二月一日更らに我が外務本省に無期限にて雇入れられ同月十日外務卿秘書官を兼任し同月二十五日彼の韓國に於ける花房公使の政變に際し井上全權大使に隨伴して韓國に赴き十八年六月六日特に宮中に於て勳三等旭日中綬章を授けられ同年九月九日井上外務卿の下に貿易に關する事務取調主務を仰付けられ二十年在米國日本公使館に轉任、二十六年四月再び來朝し同年九月十五日歸米、卅年四月十二日布哇に出張仰付けられ卅七年十月十七日來朝韓國政府の顧問をも兼ね今回賜暇歸國中此厄に罹りたる次第なるが氏は明治十五年以來常に我が外務省を離れず其樞機に參して功勞少からず爲めに廿七八年戰役の功に依り廿八年十一月勳二等瑞寶章一時賜金三千圓を賜ひ卅一年四月一日には北米合衆國關稅法案問題に關し時の駐剳公使を幇助したる功に依り旭日重光章を贈與せられ又三十七年十月廿日勳一等瑞寶章に叙せられ四十年九月十六日金八千圓を賜はりたり以上は氏の官歷の梗槪なりとす

●ハリス博士の悲歎

前韓國顧問スチーヴンス氏遭難の報廿四日夜神戸ミカドホテルに滯在中のハリス博士の許に達したるが博士はス氏を日本に紹介したる人にして卅年前氏を伴うて始めて我國に來り又ス氏が韓國顧問となるや博士を韓國に迎へて同地の基督教傳道に力を盡すなど其交誼尋常ならざりし事とて遭難の報を手にしたる博士は絕ね入らん許りに驚き果ては老の眼に淚を湛へ跪きて祈禱を捧ぐるなど側の見る目も氣の毒なる程なりしが尙博士は往訪記者に語つて曰く

スチーヴンス氏は明治六年日本に來り爾來日本の外務省と直接間接の關係を有し其最近に於ては韓國顧問となり日韓條約の成立に關して多大の功績を有するところとなり故に氏の半生は日本の爲に傾注し居りたるものにして氏も亦日本のために盡すを以て其本分をなしたるものゝ如し其日米間の政治界に於ける地位及び勢力は姑く措き氏が日本に關する言論は米國人の重んずるところなるべし一度日米間の舊交を破らんとまで思はれたる兩國の交涉も日本天皇陛下が米國艦隊を御招き遊ばされたるにより兩國の間に橫はりたる暗雲を一掃したる心地さるゝ折柄兩國の連鎖たるべき日本化せる米人の遭難は誠に遺憾とすべきなり余は友人たるの以外日本のために此人の生命に異變なからんことを切望す云々

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

（一）全羅北道 求禮守備隊上等兵以下六名は三月十九日錦場里（求禮東方約三里半）へ潛伏せる員數不明の賊を攻擊し之を谷城方向に擊退せり賊の死、首魁仁石以下八名傷者若干捕虜七名鹵獲品小銃十三、雜品多數我に損害なし
（二）江原道 伊川守備隊の斥候は三月二十二日午前四時東倉里（伊川東北約四里）に宿營中の賊約二百を急襲し潰亂せしめたり賊の死十、負傷三十を下らず鹵獲品刀一、小銃十五、我に損害なし
（三）全羅北道 全州守備隊の斥候は三月二十一日葛潭西北二里の雲岩に於て賊五を攻擊し其一を殪せり
（四）京畿道 南陽守備隊の兵卒二名は同地駐在所巡查と同行し三月二十一日水原郡松洞面濟汀浦（南陽東北約二里半）金正鳳所有の船內にて火繩銃八、洋銃二、火藥其他雜品多數を押收せり
（五）派遣騎兵 第一中隊の一部隊は三月廿二日午前六時潭陽（全州南方十四里）の北六里半の地に於て賊五十を攻擊し其十二を殪し小銃三、其他雜品を鹵獲す我に損害なし
（六）忠淸北道 永同守備隊の下士以下十二名は三月二十五日三巨里（茂豐場東南約三里）にて賊約六十に遭遇し其八を殪し五を傷けたり我に損害なし
（七）海州 守備隊の兵卒三名は三月二十五日金山面四里村（海州東南六里）に於て賊約二百と戰鬪し其二十を殪せり我兵一名戰死し二名負傷せり

●麻田郡冷井里の交戰

麻田憲兵分遣所よりの報告に依れば去る二十五日午前五時暴徒偵察の爲め增田憲兵上等兵外四名の兵士を麻田郡河新面斗日場附近に派遣せしめ一行は午後零時二十分頃同郡冷井里に到着せしに同村北方約三百米突の山上より賊徒約百五十名突如として我に向つて發砲を試みしかば我は直ちに應戰約三時の後之を潰走せり而して賊の一部は九化場方面に其の他は高旺山方面に逃走せり賊の死三名負傷十名鹵獲品としては別に見るべきものなし

●金堤郡の自衛團

全羅北道金堤郡內自衛團は天主教徒が自衛團は日本人保護を目的とするにあるが故に韓國を顚覆せんとする日本人に對し韓人が進んで其の保護機關を組織するの必要なしと主張して反對せしが郡守の熱心なる勸誘により之れが組織を完了し各閭番小屋を設け巡邏警戒に從事し曩には暴徒二名を逮捕し又事故ある時は直ちに警察に報告する等頗る効果の見る可きものあり殊に閭の役員には面長其の他の有力者を推選したるを以て從來困難なりし徵稅上にも好影響を來し自衛團の活動と相俟つて成績良好なりと云ふ

●水雷艇の拔錨

仁川港に碇泊中なりし第十水雷艇隊三十九、四十、四十一、四十三の四隻は一昨日午後三時旅順に向つて拔錨し第十四艇隊千鳥、眞鶴、鵲、隼の四隻は昨日午後八時仁川を解纜したり

●又々交代兵の上陸

今朝仁川に入港すべき吉林丸は駐韓交替兵千餘名を搭載し來れるが仁川に上陸するものは四百十五名にして他は凡て鎭南浦に向ふものなりと因に同船は軍需品百個及石炭百噸を揚陸すべしと云ふ

●增派憲兵隊の上陸

一昨日仁川に入港したる山城丸にて韓國憲兵增派隊六百三十三名は直に上陸し一部隊は仁川驛より午後六時三十五分の列車にて各地に向ひ殘部四百六十四名は仁川に一泊し昨日仁川驛午前六時三十分發の列車にて天安に向ひ二百六十八名は同十一時四十五分の列車にて京城に向ひたり

●憲兵の天安行

昨日午前七時四十分仁川より憲兵百九十七名天安地方へ赴任の途次永登浦に下車し同十一時二十分發大邱行の列車に搭じ出發したり

●憲兵入京

一昨日數十名の憲兵入京し九州、金澤、東海、藤隈の各旅館へ投宿せり不日夫々任地へ出發の筈

●御用船吉林丸

來月二日御用船吉林丸にて步兵五十聯隊同五十一聯隊同五十二聯隊騎兵十七聯隊砲兵第十九聯隊工兵第十三聯隊の歸還兵千〇九十六名は各所屬師團に歸隊すべしと云ふ

●大阪商船の値下 鐵道對抗策

近來鐵道管理局に於て仁川輸入の貨物を釜山に吸收せん事に汲々として敏捷なる活動をなすについては今回大阪商船は此れに對抗せんが爲め來る四月一日より左の如く乘客運賃値下を斷行したり

仁川より
大阪神戸行 九圓を八圓に
關門行 七圓を六圓に
宇品行 八圓を七圓に

尙京城よりの乘客は京城を起點として五十錢增とし流車賃をも會社側にて負擔す尙貨物運賃も追て大低減を斷行せらるゝに至らん

●綿糸鑑定價格に就て

南大門と仁川に於る綿糸鑑定價格の高低ありしを某綿糸業者が發見したる以來一問題となりたるが仁川稅關にては南大門に交涉したる結果愈々當分の中中庸を取りて五十圓となしたる由なるが南大門に於ては在荷のみ前價格にて通關さるべしと云ふ

●朝鮮貿易組合の新生面

輸出品檢查を勵行し來れる同組合は更に步を進め今回大阪稅關と交涉し組合の檢查員を稅關に派し組合證票を貼付せる輸出品を取扱はしむる事とし又近き將來に一會社を組織して荷扱をも開始する豫定なりと

●永登浦小學校の授與式

永登浦小學校にては一昨日卒業證書授與式を擧行したり卒業生の成績は一般に良好なりし

●昌德宮參內者

一昨日昌德宮參內者は五十七人（內婦人八人）にして重なるものは義陽君李載覺、永宣君李俊鎔、宮內大臣李允用、承候官尹澤榮、同尹德榮、主殿院卿李謙濟、侍從院卿閔丙奭、同副卿李會九、農商工部技師岡衛治、同林五八、警視副監具然壽、典膳司長金任錢、小宮宮內次官夫人德壽宮は百十一人（內婦人二十四人）重なるものは李宮內大臣、義和宮、度支部大臣高永喜、義陽君、丸山警視總監、具同副監、侍從長金春熙、承寧府總管趙民熙、同副總管朴齊斌、醫師鈴木謙之助

●荒井次官の東京出發

荒井度支部次官は昨日東京出發歸任する旨其の筋へ來電あり

●陸軍運輸部長の上京

仁川陸軍運輸部支部長千葉少佐は昨日歸還兵輸送の件に就き打合せの爲上京し又同副支部長寺田大尉は鐵道輸送の件に就き同日龍山に向へり

●レビンク氏入京

米國大統領候補者として又萬國青年會司事部長なる同氏は昨日來韓入京せられたり尙ほ鐘路の青年會に於ては明三十日夜同氏の爲め歡迎會を開く由なり

●遠藤仁川局長の上京

仁川郵便局長遠藤達氏は秘苑に於て開かるべき園遊會に出席の爲と事務打合の用務を兼ねて昨日上京し本日歸仁の筈

●陶山秘書官の賜暇歸朝

度支部翻譯官兼秘書官陶山武次郞氏は今般賜暇を得本日南大門發急行列車にて歸朝す

●高等女學校長着任

京城民團立高等女學校長に任命されたる三浦直氏は一昨夜着任不知火旅館に投宿せり

●鈴木氏の拜診

太皇御不例に付き大韓醫院醫員鈴木謙之助氏は一昨日渡邊警視舍閔通譯として看護婦を從へ承寧府に參內し太皇帝を拜診したり

●近事片々

▲古鄕の春色今奈何花にも月にも感觸するは古鄕也勇士亦羈旅に詩を賦して懷鄕す
▲滿都の士女櫻花に浮れ奇裝の粹士瓢酒を傾け墨堤に痴態を極むる狀眼前に髣髴す
▲咲た櫻に駒繋ぐ無風流漢あり花や今の主なるらむと謡ふ風流男あり千態萬狀也
▲漢城未だ桃李の花開かずと雖も咲信近にあり今や城外の春色長閑笻を曳に足らむ
▲漢江上流小舟に掉すも亦一興兩岸の風色綠草萠出で草花點綴無風流者亦詩想湧く
▲日人官吏多數の任命は韓民の惡感情を招く甚し寄と觸ると話頭に上て切齒慣慨す
▲韓民曰く終には韓人官吏皆無に至らむと之が爲に排日思想一層高まる反省を要す
▲日官多數の任命は今や韓民間の大問題となりぬ捨名取實も玆に至て支離滅裂たり
▲有害益なきとは此事也始より知れ切たこと先眞暗の連中には全く手が付られぬ
▲兪吉濬秘苑園遊會に至賤の妓生を數多侍らせる現閣員の不謹愼を痛快に罵倒すと
▲不謹愼は現閣の特色愼るは野暮也官舍に賤妓出入し小間使なる役名ある世の中也
▲二六の秋山定輔滿洲に遊び其土地の廣漠際涯なきに驚き百聞一見に若かずと唸る
▲東京邊の韓國論者多く皮想の觀をなす亦此類百聞與に不若一見ドシ／＼來よかし
▲西園寺內閣漸く閣員補塡せらる遞相に研究の堀田法相に木曜の千家是上院操縱乎
▲堀田殿樣の遞相出雲大社の法相迄も雛り役ならずされど長谷純元田よりは優る也
▲都築大使歡迎會に陸軍の秋山海軍の島村出席を電報にて斷る此消息知る人ぞ知る
▲秋山島村共に傑出の好軍人却て都築に優る功勞あり然るに都築のみ主賓とす矛盾
▲英國自由黨內閣信任缺乏の兆あり然るに首相病重態閣員の心痛轉た思ひ遣らる也

●仁川同志會の拂日

仁川實業同志會に於ては二百餘名の會員を有し目下專ら支拂期日確定方に就き協議中なるが同會に於て決定したる五日迄支拂の規定は會員中にも五日を支拂日とすべきものと誤解し居る向あるが右は止むを得ざる場合には五日迄延期し得るものにして支拂期日は矢張り月末の定めなれば注意すべしとなり同會に於ては一般居留民にて支拂をなさゞる者に對しては同會にて取立人をして嚴重なる取立をなさしむべしとなり

●岡本亥之吉氏

警視廳警部に任じ判任[illegible]監督官司法主任を命ぜられたり

●故金山書記官追悼會

本日午前十時南山本願寺に於て擧行せらるゝ故金山書記官追悼會には曾禰副統監以下統監府員總代の吊詞ある筈なりと

公人 私人

△中村敬彌（步兵第五十二聯隊付少佐）富尾旅館へ
△羽田章平（同少尉）同
△[illegible]（步兵第五十三聯隊付少尉）同
△中島忠一（步兵第五十三聯隊付中尉）同
△中瀨俊二（駐箚軍司令部付二等軍醫）同
△竹田晉太郞（京畿道書記官）巴城館へ
△林文太郞（平壤鑛業所長）天眞樓へ
△新納三十郞（陸軍步兵大尉）山本旅館へ
△貴島玄二（同中尉）同
△[illegible]
△河合精一郞（新任京城第一尋常高等小學校長）一昨夜の終列車にて來京

●仁川同業會と佛日　仁川實業同志會に於て三百餘名の會員を有し目下[illegible]場合には五日[illegible]支拂期日は矢張り[illegible]けべしとなり同[illegible]し支拂をなさゞる[illegible]立人をして嚴重なる取立をなさしむべしとなり

●岡本亥之吉氏　警視廳警部に任じ判任官四等八級俸給與南部警察署勤務[illegible]監督兼司法主任を命ぜられたり

●故金山書記官追悼會　本日午前十時南山本願寺に於て擧行せらるゝ故金山書記官追悼會には曾禰副統監以下統監府員韓國婦人會役員多數の參列ありて追悼會總代の弔詞ある筈なりと

公　私　人

△中村敬藏（步兵第五十二聯隊付少佐）富尾旅館へ
△羽田章平（同少尉）同
△後藤鉾[illegible]（步兵第五十聯隊付少尉）同
△中園忠一（步兵第三十三聯隊付中尉）同
△中瀨俊二（駐劄軍司令部付二等軍醫）同
△竹田啓太郎（京畿道書記官）巴城館へ
△林文太郎（不壊鑛業所長）天眞樓へ
△新納三十郎（陸軍步兵大尉）山本[illegible]
△貴島玄二（同中尉）同
△大久保有朋（陸軍二等軍醫）非眞樓へ
△隈元通純（海軍中佐）山本旅館へ
△河合精一郎（新任京城第一尋常高等小學校長）昨夜の終列車にて來京

花の根ざし（十）

粟嶽庵主人

花崗次郎は牧畜事業調査の爲に歸朝し、古郷なる飯塚の武雄に立寄り、靜子の母及び兄にも親しく面會して、靜子が突然來りたることから懇親の親切で、今度目的の牧畜事業を開始することになり顛末を逃べて二人に安心させ、種牛のことは靜子の兄に頼み置き、少しく取調ることもあつて東京まで行き、彼是一週間斗りにて所用を果し、亦た武雄港に歸つた、其時恩津の横濱より手紙が來て靜子の病氣が知れたのである、それは先に掲げた通りであつて夫れから四五日後に出發する積りであつた所が、風邪の心地で打伏したのが始まりで日に病勢募つて、醫師の診斷を請ひし處が、それが肋膜炎で最も重症なのである進藤母子の驚きは非常なもので、殊に此兩三日は醫者も六かしく云ふので、母子は夜の目も寢ずに介抱するのである、進藤母子は靜子が病氣で寢て居るとのことを知らせば心配して病氣に障るやうなことがあつてはならぬと、今まで知らせずに居つたが、今は最早非常の電報で、どうしても返電せねばならぬのである、其返電は如何すればよからうと相談したが、兎も角醫者に聞いて見ようと、兄の重次は醫師の見込を問ふと、醫者は到底快復の見込はないと云ふ、もう猶豫するときでないので、返電を打つたのである、この電信を打つて二日目には少し好き方にむいて來た、母子の喜びは一方ならぬ、わけて重次は妹の婿として次郎を親身の弟のやうに思ふて可愛がつたのであるから、殊更にその感が強い、もしもの事があつたら如何に悲しかるべき、妹の悲歎もさることながら、この有爲の青年が幾多滿腹の希望を抱いて空しくなるのは如何に殘念であらうと、此一週間許りは碌々眠りもしなかつた、流石の重病も母子の誠心誠意の看護は、天に通じたのか、醫者も見放した患者が快方にむいて來た、重次は枕元にて喜びながら、死ぬるも生きるも人力にて如何ともすべからざることで、人間の運は天の司る處であると悟りつゝある處へ、母も來りて共に語るのである、　母は重次に向ひ

「妾、次郎が萬一のことがあつたらどうしやうと思つたよ、靜子がさぞ悲しむであらうし、彼の子はあゝいふ氣性だから一生獨身で居らうといふに違ひない、それやこれやを思ふては、毎晩妾は泣きましたよ、まアこれで安心しました、先刻も醫者樣のお話で、まアこの分ならば大丈夫だとのこと、靜子も明後日は着くだら

●春季大掃除

塵塚を撤却せしめ
尿溝口を閉塞せしむ

韓人部落は食物の異なる爲めに左なきだに臭氣紛々たるに特に彼れ韓人等には公共衛生の思想なきために尿溝口を通路に向けて開放し糞尿の流れ出るに任かせ又門外門内の差別なく塵塚を築き或はこれを河川溝渠に投棄するより夏氣に向へば惡臭を醸すのみならず害虫を發生せしめ彼の忌むべき蚊や蠅の多きも全くこれが爲めなるが蒙昧なる韓人はこれを察せず滿室の蒼蠅拂へども盡き難しと詩的趣味に解釋して平氣の平左衛門なれども最も怖るべき惡疫の流行もまたこれに起因するものなれば今回京城の五警察署にては來る四月一日より十日間を期し大清潔法を執行する由にて此の際汚水の浸入すべき井戸には修繕を爲さしめ、通路に向つて開放せる糞溝口は堅く閉鎖せしめ塵芥の積れるものは悉く取り去り向後は塵芥箱に入れしむることを嚴達することゝなれり果してこれが實行せらるゝこととなれば韓人部落もまた大に面目を改むることとなるべし

●銅峴管內の清潔施行　來月一日より七日迄に於ける南部警察銅峴署管內の清潔施行日割左の如し

一日　美洞、茶洞、銅峴、鳥宗洞、紅門洞、下水洞、物斤洞
二日　苧洞、長橋、兩氏洞、討谷、竹洞、笠井洞
三日　舊造山洞、篩洞、石中洞、遂井洞
四日　後洞、園井洞、芹洞
五日　五宮洞、五將廳洞、運坊洞
六日　南帶洞、盤井洞、襲洞、下都盤殿井洞
七日　東山洞、兄弟井洞

追て八、九、十の三日間に於て殘餘の塵芥を運搬すること

●僞造銀行券發見　江原道平昌郵便局に納付せし税金中に僞造第一銀行五圓券一枚を發見せしが其の印刷頗る精巧を極め用紙に透の存在せざるのみにて一見眞券に酷似し居れり出所不明にて目下犯人搜査中なりと云ふ

●日本大學校友會　前號に記せし如く在京仁間同大學出身者の校友會を昨日午後六時より日本人倶樂部に於て開會せり京仁間の校友六十餘名の中二十餘名欠席し他は悉く出席し盛會なりし尚ほ同日韓人校友李冕宇氏は遲刻したるを詫びとして官妓數名を寄附し興を添へ午後十一時過ぎ散會したり重なる出席者は韓人側にては李冕宇、張燾の二辯護士、日本人側にては野澤武之助、四天王數馬、岩間亮、奧村英吉、太尾虎之助、高橋章之助、篠井太郎、立花尾介の諸氏なりし

●大言壯語が氣に喰はぬ　當地日の出町四番戶田中信四郎方に止宿する京城仲介社の社員小馬亮三石川縣白羽郡富來町生（二十八）蜷川淳三山口縣阿武郡萩町生れ（三十）の兩名は去る二十七日の夜牛肉で一杯飲まんか夫れ宜からうと一人が酒屋に走り一人が肉屋に驅け行きて用意を調へ差向ひで飲み初めたが仲介社もこんなことでは甘い汁は吸はぬなど愚痴話しより醉の廻るに從つて蜷川が長洲は三十六萬石であつたが國民勤王の志篤く今四千萬の同胞が文化の恩澤に浴して居るのも皆この長洲人のお蔭で君の所以百萬石なんか吐かせど因循姑息の穀潰しのみであつて國家の爲めに力を致した者は爪の垢ほどもなかつたのだ君等も宜しく我輩等に感謝すべしなど大言壯語を放てるより小馬も糞癪を起し昔は昔今は今だどちらが強いか決鬪せんさ言ふより早く蜷川の横面を二三回張り飛ばしたるより爰に一場の大立廻りとなり蜷川は腕力にては到底勝利覺束なきと見て警察署へ馳せ行き毆打の告訴を爲せしが後に醉が醒めて見れば意趣意恨のあるでもなく矢張り元の朋友の間柄のことゝて小馬は謝罪する蜷川も成ほどと合點が行つて告訴を取下げたり古語に一杯の酒は人酒を飲み二杯の酒は酒酒を飲み三杯の酒は酒人を呑むといへるはこのことなるべし

●酒の自慢　二十七日午後五時頃南署小廣橋草洞居住酒店金昌玉（三十）方へ同所三統二戶朴元明なる者來り自慢な口を叩きて曰く實は自分も貴公と同じく酒店なれど俺の所の酒は憚りながら品が好く近所の評判だが時に貴公の家の酒は什麽か何れ水つぽくて飲めねえだらうと侮辱の言を吐き居る處へ同統內李春元なるもの入り來り朴の囃しを聞きながら默つて酒を飲み居りしが餘りに朴の自慢囃しが烈しきより他人の事と言ひながらグッと癪に障り突然起つて朴の頭を毆り付けしより朴も非常に怒りナニ貴樣の出る幕ではない默つて引き込んで居れと之れも李に喰つて掛りしかば爰に一場の立廻りを演じたりしが結局警官の厄介となり夫れ〳〵お目玉を頂戴して引き下りたり

●ガラス障子を毀す　千葉縣千葉市本町の生れにて目下當地本町六丁目に居住する江川清（三十）といへるは昨二十八日の午前二時頃明治町二丁目の飲食店三升屋事林ミヨ方に至り酒肴を命じたるも酩酊し居れるより同店にては体よく謝絕したるに一應出で去りて再び來り是非に一杯飲ませといへるも今夜は夜も更けたればとて又も謝絕したるに清は立腹して表のガラス障子を叩き破り逃げ去らんとするより居合の者引捉へ警察署へ連れ行きたるが醉中のことゝて損害金を辨償せしめ說諭にて放還せられたり

●犬に咬まる　犬は人に狎れる動物にして人に狎るれば濫りに人に危害を加ふるものにあらざることは三歲の童子も能く知る所なるが偶に狂犬なるものあり病的作用によつて人畜或は木石の差別なく何であらうが觸るゝものに噛みつくことあり人間も此の狂犬の爲めに咬傷を被れば不治の症に罹るべきを以て最も注意すべきことなるが本町一丁目の栗永トキといへる小娘は去る廿七日南大門通りに於て巴商會の飼犬に足部を咬みつかれたるより昨日其の犬を警察署に連れ來らしめ醫師をして診斷せしめたるが狂犬にはあらざりしと然らばトキが惡戲を加へしか或は誤つて其の尾をも踏みて彼れ犬の反抗を受けたるならんが危險のことゝもなりし

●迷兒二件　去る二十五日午後二時頃銅峴警察分署の附近に道を迷ひて泣き居る韓童ありしが名は金石千（六）とのみにて更に要領を得ざるより今に警察署に於て保護中

▲又廿七日午後八時頃竹洞四巨里等地に於て四五才許りなる韓童迷兒となりしが是又實家が分らず警察署に預り置けり

●馬を盜まる　生馬の眼を偸むほどの者にあらざれば韓國三界に來て生活は出來ぬとは人々の常に口にする所なるが是れはまた驚くべし漢城病院に繫ぎありし生馬を昨日のシカモ白晝に牽き去りし泥棒あり日人か韓人か兎に角大膽不敵の奴なるべし

●鷄林第二號發行　京城明治町一丁目雞林社より發行せる雜誌鷄林は昨日第二號を發行せり

●日曜說教　旭町二丁目名古屋城內なるメソジスト教會に於ては午前十一時ハウセル氏の說教、午後七時三十分よりは渡邊氏の說教ありて一般の來聽を歡迎するに依り篤志の人は來聽せらるべし

●故片淵琢氏の葬儀　本日午後一時より當地本願寺別院にて葬儀を執行する由

●故近藤次男氏の葬儀　近藤春太郎氏の次男次夫氏は豫て病痾の爲め久しく病褥に呻吟し居りし所不幸にして藥石其の効を奏せず去る廿七日午後一時遂焉として終に白玉樓中の人となれるが葬儀は昨日午後一時自宅出棺本願寺に於て埋葬の式を營みしが親族知友の會葬するもの却々に多かりき

●近藤春太郎君の次子を喪へるを悼む　旭川

曩日其愛娘を失ひたりし予は、幾くもなくして今又友人近藤春太郎君が最愛の男、次夫子の死を悼まざる可らざる運命に逢著したるを悲まずむばあらず。春太郎君近藤氏は鐵道管理局の囑託醫にして、次夫子は實に其第二子也、容貌魁偉、衆措堂々頭に古英雄の風あり、知人皆之れに字して近藤の豪傑と呼びにき、而して君も亦潛かに多く望みを此の次子の上に繋けて、寵鍾至らざる所なかりしに、卒然として病むで沒す、齡僅に二歲、悲痛何ぞ堪む、余は多く泣かざる近藤氏夫妻の爲めに泣かざるを得ず、更に其長子が蒲柳の質なるに於て最も沈痛なる同情を表白するもの也。

春の夜の夢ともならぬ恨哉

開店御披露

御料理

本月二十三日ヨリ三好町歌舞伎座前ニ於テ開業仕候間續々御光來被下度奉願候

京城三好町

筑紫亭

業務擴張

移轉廣告

京城郵便局前

洋反物　太物蚊帳　綿類蒲團

（あ）秋山商店

電話九四六番

古着賣買

（あ）秋山商店

▲電車割引券發賣
▲電車割引券改正
▲龍山線區域改正
▲電車發着時間改正

四月一日より鐘路本社及龍山電車停車場にて發賣す六十枚綴一冊に付金二圓八十五錢何れの區域にも使用し得べし
四月一日以後は南大門驛前を境界點とし同點より鐘路及龍山迄を各一區域とす
四月一日以降は夏期時間表に依り電車を運轉す

韓美電氣會社

梅毒にて苦む御方は急ぎ一劑試み給へ速に全治す藥効なき時は返金ず

しつけつがん
濕血丸　價一圓

百治人

よこね、かんそう、はねうづき、ようばい、そう、りん病、子宮病、じしつ一切、がん、がさ、るいれき、たいどく等に特効あり

右藥は米國醫科大學教授博士（マンキリン氏）の明治二十五年十月新發明せられし良劑にして輕きは半廻り重き病は一二週用ゆれば速に全治す此藥は我日本にありふれたる梅毒藥とは異なり服用して決して口中いためず飲食物に禁止なし就業勤務に妨害なし身体衰弱せず頭髮ぬけず養生中他人は勿論家内のものにも知れる世話なく全治する事保證す但一週間分金一圓

▲賣捌き御望の方は御來車あれ

調劑本店　大阪　松本快活堂

韓國一手販賣　京城新町　松本儀祐

▲到る處の賣藥店にて販賣仕候

善隣商業學校夜學專修科

生徒募集

●第一學年生五十名●出願期日四月十二日限
●志願者心得入用のものは本校に申出べし

京城明治町壹丁目

一層業務を擴張し敏腕の事務員數名を增聘し迅速且つ懇切に左の事務を取扱ふ

一民刑訴訟の鑑定及諸般代書事務
一貸金賣掛金等に關する債權取立事務
一鑛山及土地の測量製圖並に出願手續
一會社組合銀行等の顧問

明治法律學校出身

京城本町二丁目

增本好三郎事務所

（電話取次六二四番）

珍店江戸子流

東京下駄

仁川宮町二丁目

成田屋

電話一八二



會席御料理並に仕出し

京城本町一丁目

曙亭

拾有八年の實驗
最新學術の應用

齒科醫　勳六等

京城南山町三丁目

檜崎東陽

（日本人倶樂部向）

和洋御料理

並に

かきかまめし

外に洋食、すし

一皿ニ付金十五錢

京城本町五丁目　釘本商店前入

やまづあ

臨時移轉廣告

今般改築中當分本町四丁目淵上商店内及び第一銀行横手の二ケ所に於て臨時營業仕候間不相變御引立の程伏て奉懇願候

以上

内外藥品
有名賣藥
卸小賣商

京城本町四丁目

近藤貴生堂藥房

（電話一三八番）

●大勉強廣告●

○うなぎ蒲燒○會席御料理
○うなどん○親子どんぶり

本町座前大和湯向

きく紋

電話九百五十四番

極材木、竹類、灰

座敷廻り諸材料特に注意取揃あり

右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候間多少に不拘御用命願上候

（卜）**小森材木部**

京城旭町一丁目
電話七四四番
本宅四〇五番

節句用

雛市松人形其の他種々

荷着大勉强

京城本町四丁目

（川）**河村百福號**

電話七四六番

同じ金を出しながら一世紀後れの洋服を着給ふ勿れ

英京龍動より直輸入春洋服地種々　右弊店特約品今般丹波丸便を以て輸着相成候處品質精良にして柄合よ本年の最新流行普通東洋向と稱する内地廻りの雜物の比にあらず然るに直輸入の故を以て内地消費税を免れ案外の低價に引取り候を幸ひ此際一層廉價に調製可仕候間續々御用向奉願候

諸官衙御用達

洋服商

京城南大門通三丁目

丁子屋支店

電話二十三番

直輸入極上等無綿

英子ール新荷着

京城本町二丁目

丁子屋分店

電話二百二十番

龍山

青木醫院

（電話一〇四番）

一般衛生試驗の依賴に應す

院長　青木濟六
副院長　原志勝治
藥局長　鳥山貞雄
京城分院　日韓病院　百合野福松
永登浦分院　松村勝熊

病室增築中

營業科目

紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐デシン
穀物食鹽
織物染料
各學校用品調達
諸衙官用御品調達

并に

委託販賣

東京　合資會社アライアンス商會代理店
横濱　百七十六番ピュームエンドライフ商會代理店
東京　千代田生命保險相互會社代理店
東京　博文館發行書籍特約店
東京　金港堂發行書籍特約店
釜山　臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社　京城明治町二丁目　電話二三〇番
出張所　東京　京橋區南鍋町二丁目　電話新橋三九六二

西洋御料理宴會

日本人倶樂部

京城南山町三丁目電話（一二三番）

會席御料理並ニ仕出し

京城本町九丁目

小松亭

各種銘茶販賣所

專業

富士の里茶舖

京城本町五丁目

梅毒癩病

内科外科

入院隨意

京城南大門外

戶田病院

大日本高等女學會

高等女學講義を發行して通信敎授す

△來る四月新學期を開く、家庭にて獨學の婦人女子は速に入會せられよ
△會頭以下役員親しく責任を以て會務を處理す、これ營利的學會と異る所也
△講義は兩高等師範學校敎授其他女子敎育大家責任を以て親切に講述す
△附屬の慈善敎育部、女藝敎習所は學資なき女子に無月謝にて女藝を敎授し又は講義錄を配付す
△規則書ははがきにて請求せられよ東京牛込區市ヶ谷加賀町二ノ十三

大日本高等女學會

會頭　公爵夫人　二條洽子
副會頭　子爵夫人　青木楠枝子
顧問　男爵　肝付兼行
理事　有馬男爵夫人外十七名

入院隨意

十全病院

京城旭町三丁目

電話七三七番

新荷着御案内

東京名産の部

ホトヽギス卷、櫻花漬、八千代卷、チン卷梅干、エビ佃煮、ハゼ佃煮、貝佃煮、キャラフキ、新漬澤庵

京都名産の部

蕪千枚漬、蕪百枚漬桃入水菜新漬、京都新漬澤庵、上等奈良漬、色付ナシ梅干、料理用白味噌、芥子大根白味噌づけ

大阪名産の部

金山寺味噌、鐵花味噌、山あわび、金カンデンフ、靑サイカキ、花良京靑トウカラシデンブ色々

靜岡名産の部

ワサビづけ

北海道名産の部

鮭筋子鹽づけ、同粕づけ、鮭粕づけ

長崎名産の部

上等カラスミ

名古屋名産の部

岡崎八丁味噌

壜から物の部

上等このわた、同うに、鰹鹽から、鮎うるか、いか糀づけ

其他各國名産罐詰瓶詰各種全部新荷着仕候間多少に拘不御買上げ願上候

親玉　勉强　たなじみのつけ物屋

京城本町二丁目

日下部商店

開店廣告

筑豐石炭

一叺以上御小賣

鍛冶屋用石炭

京城精米所特約販賣店

精米

貿易　石炭　精米

商　**平山洋行**

京城本町一丁目（電話四一番）

日本郵船株式會社

仁川　汽船出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通

郡回漕會

電話三九番

京城南大門通

巴商店

電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行　山東丸　四月十二日　後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行　第一オハヨ號　三月　日　後三時出
劍路丸　三月　日　後三時出
●大連、大沽、牛莊行　高砂丸　四月九日　後一時出
山東丸　三月卅一日　前十時出
●大連、大沽、牛莊行　酒田丸　四月廿三日　後一時出
●鎭南浦行　第一オハヨ號　三月　日　後三時出
●釜山出帆、元山行　弘前丸　三月　日

御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船頭ノ事